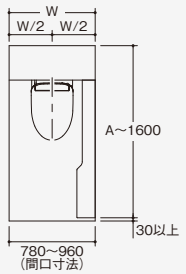
1 商品取り付け範囲について

1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

(1)間口750～960mmの場合

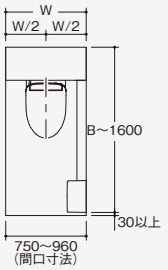
〈L型・Mサイズ〉
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて下記の長さにカットできます。



(単位:mm)

タイプ	A
床排水(排水心200)	1565
床排水(排水心135)・壁排水	1501

〈L型・Sサイズ〉
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて下記の長さにカットできます。

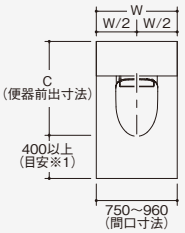


(単位:mm)

タイプ	B	
	間口750～840	間口841～960
床排水(排水心200)	1326	1251
床排水(排水心135)・壁排水	1262	1187

※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレのカウンターカット寸法が異なります。

〈I型〉

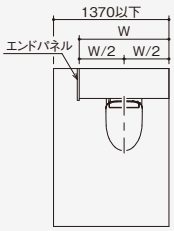


(単位:mm)

タイプ	C
床排水(排水心200)	870
床排水(排水心135)・壁排水	806

※1 やむなく狭いスペースに設置せざるを得ない場合や、トイレ内に障がい物がある場合は、器具の取付上、機能上最低限必要な寸法を確保ください。ただし、使用される方によっては、狭く使用しづらく感じられる場合があります。
また、便器先端から約300mm以内に障がい物がある場合は、便座・便ふたが閉まらないことや、便器のオート洗浄ができなくなる場合があります。
※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレ寸法が異なります。

(2)エンドパネルを使用する場合
エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置することも可能です。
間口は1370mm以下としてください。

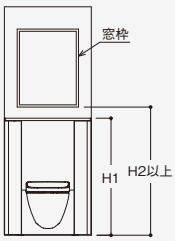


※上図はRタイプのエンドパネルです。
逆勝手がLタイプです。

1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、下図のような制約がつきます。事前に製品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

(1)大便器後ろ壁に窓がある場合

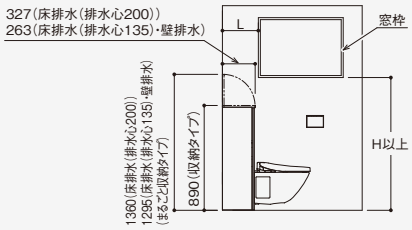


(単位:mm)

タイプ	H1	H2
L型・Mサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
L型・Sサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
I型・手洗器あり(収納タイプ※1)	890	1020
I型・手洗器なし(まるごと収納タイプ)	1050	1100

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100～1295mm(床排水(排水心200)の場合は1100～1360mm)かつ、窓枠の出代が10mmを超える場合は天板が自立しません。
※1 天板は開きません。

(2)大便器横壁に窓がある場合



(単位:mm)

タイプ	床排水(排水心200)		床排水(排水心135)・壁排水	
	L=365以上	L=365未満	L=300以上	L=300未満
	H			
L型・Mサイズ(まるごと収納タイプ)	840	1395	840	1330
L型・Sサイズ(まるごと収納タイプ)	1040	1395	1040	1330
I型・手洗器あり(収納タイプ※1)	—	1020	—	1020
I型・手洗器なし(まるごと収納タイプ)	—	1395	—	1330

※1 天板は開きません。

2 取り付け施工条件について

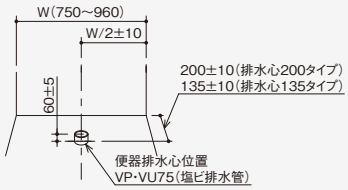
2-1 給排水位置の条件

(1)排水位置の条件

①床排水タイプ

下図の位置に便器の排水心があることをご確認ください。

VP・VU75(塩ビ排水管)は床から60±5mmで立ち上げてください。
VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

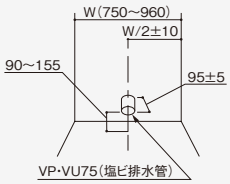


②壁排水タイプ

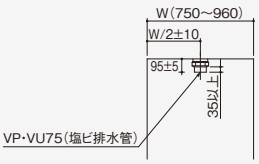
下図の位置に便器の排水管位置があることをご確認ください。

排水勾配は必ず1/50以上確保してください。便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

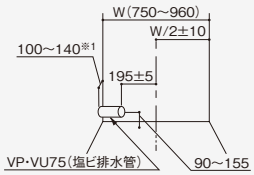
〈後ろ抜きの場合〉



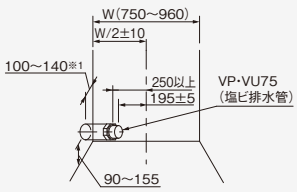
〈後ろ抜き・フランジ付の場合〉
排水位置高さは90～155です。



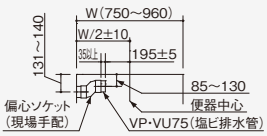
〈左抜きの場合〉
※右抜きタイプの場合は左右対称です。



〈左抜き・フランジ付の場合〉
※右抜きタイプの場合は左右対称です。



※1 排水位置が後ろ壁から131～140の場合は別途偏心ソケットを手配し、右図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように、取り付けてください。



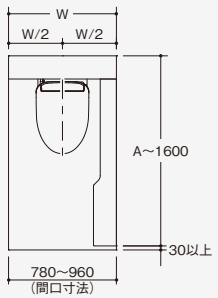
1 商品取り付け範囲について

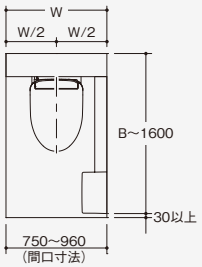
1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

〈L型・Mサイズ〉
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて任意の長さにカットできます。

〈L型・Sサイズ〉
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて任意の長さにカットできます。





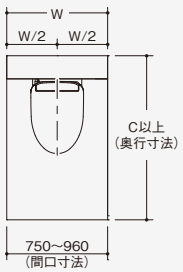
(単位:mm)

タイプ	A
まるごと収納タイプ	1500
スリム収納タイプ	1410

(単位:mm)

タイプ	B	
	間口750～840	間口841～960
まるごと収納タイプ	1265	1190
スリム収納タイプ	1190	

〈I型〉



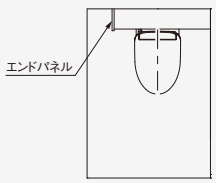
(単位:mm)

タイプ	C
まるごと収納タイプ※1	1200
スリム収納タイプ	1115

※まるごと収納タイプとスリム収納タイプでは、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレの寸法が異なります。
※1 手洗器ありの場合は収納タイプ。

エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置できます。

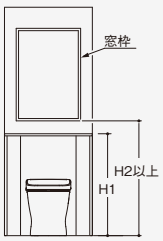
※右図はRタイプのエンドパネルです。逆勝手がLタイプです。



1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、下図のような制約がつきます。事前に製品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

(1)大便器後ろ壁に窓がある場合

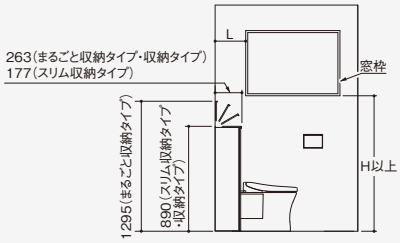


(単位:mm)

タイプ	まるごと収納タイプ※1		スリム収納タイプ	
	H1	H2	H1	H2
L型・Mサイズ	1050	1100	890	910
L型・Sサイズ	1050	1100	890	910
I型・手洗器あり	890	1020	890	1020
I型・手洗器なし	1050	1100	890	910

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100～1295mmかつ、窓枠の出代が10mmを超える場合は天板が自立しません。
※1 I型・手洗器ありの場合は収納タイプとなり、天板は開きません。

(2)大便器横壁に窓がある場合



(単位:mm)

タイプ	まるごと収納タイプ※1		スリム収納タイプ	
	L=300以上	L=300未満	L=210以上	L=210未満
	H			
L型・Mサイズ	840	1330	840	910
L型・Sサイズ	1040	1330	1040	1040
I型・手洗器あり	—	1020	—	1020
I型・手洗器なし	—	1330	—	910

※1 I型・手洗器ありの場合は収納タイプとなり、天板は開きません。

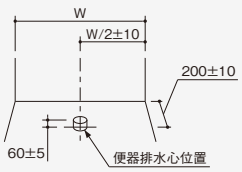
2 取り付け施工条件について

2-1 給排水位置の条件

(1)排水位置の条件

下図の位置に便器の排水心があることをご確認ください。

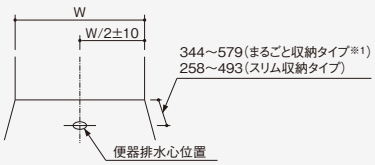
〈排水心200タイプ〉
排水管(VP・VU 75またはVP・VU 100)は床から60±5mmで立ち上げてください。排水管の材質および高さが図と異なる場合、必要に応じて下記部材を別途手配してください。



必要部材

排水管	VP・VU 75／100	床から60mm±5mmで立ち上げ直してください。(既設フランジは利用できません。) ●排水管高さが0～55mmの場合 60mm立ち上げ用アダプター(HH01001R)をご使用ください。 ●既設フランジをカットする場合 市販の持ち出しニップルなどで立ち上げ直してください。
	鉛管 φ75／100	床から60mm±5mmで塩ビ管の立ち上げが必要です。 ●フランジの設置がない場合 排水ソケット(T90SW75／100)をご使用ください。 ●既設フランジが設置されており、流用できる場合 取換アダプター(HH01003)を使用してください。 ●既設フランジが設置されているが、流用できない場合 取替アダプター(HH01003)、フランジ(T53WR75／100)をご使用ください。

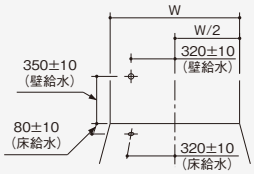
〈排水心可変タイプ〉
既設フランジを利用します。既設フランジが使用できない場合は、フランジ(塩ビ管用HP430-1(VU・VP100用)、HP430-7(VU・VP75用)、鉛管用T53WR75/100)を別途ご発注ください。



※1 I型・手洗器ありの場合は収納タイプ。

(2)給水位置の条件

下図の位置に仕上面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。L型、I型とも、給水対応位置は共通です。寒冷地(水抜方式)の場合は床給水のみです。

〈給排水まるごと工事タイプの場合〉

[左右勝手共通]